

# 明日はむかえて

発行/社会福祉法人 陽光会 陽光保育園 編集/陽光保育園子どものしあわせを願う会  
発行日/1994年2月3日 住所/東京都板橋区大谷口上町23-1 ☎(3956)1068

14号

あけましておめでとうございます  
'94新しい年を迎えました。干支は11番目にあたる戌です。十二支の中でも戌は最も人間に愛され、人間の味方として多くの物語等にも登場しますが、はたして今年はどんな年になるのでしょうか。  
1994年は国連の『国際家族年』でもあります。75年『国際婦人年』、79年『国際児童年』、84年『国際障害者年』についての『家族年』です。内戦で肉親を失い、飢えて命をなくしている子供たち、経済の破綻で散り散りにされた家族。いま世界で家族の抱えている問題がどれほど大きいか伺えます。嬉しいとき、悲しいとき、つらいときに、そこに家族がいて語らう。一所懸命働いて普通に生きている人々が、幸せにくらせる世の中を一日も早く実現したいと願わずにはいられません。

## 公的保育制度つぶし反対!

### すべての子どもがすこやかに育つ権利を守りぬこう!!

#### 公的保育制度を守り、保育の充実を

厚生省は、昨年一月末に「保育問題検討会」を設置して「保育園のあり方を抜本的に見直す」と表明。十一月、最終検討にあたってのたたき台がだされ、保育界にも大きな衝撃を与えました。

その内容の柱は、すでに新聞などで報道されているとおり、利用者(父母)と保育所が直接契約を結ぶ方式の導入によって、保育園への入り口を分けてコース別にしようというもの。この制度見直しが成功すれば、一〇〇億〜二〇〇億円の国庫負担金の削減にもつながると報道されています。「保育料を公平な負担にする」とか、「入所手続きを簡素化して」とか、「入所料を安く」という厚生省のねらいは、口先だけで、ほんとうのねらいは公的な責任を軽くして、財政負担の削減をはかろうというものと思われまます。

#### どの子どももみんな、すくすくと育ってほしい

私は、陽光保育園に就職した頃、とても感激したことがあります。それは、週一回の職員会議で全園児の保育に、どんな協力が必要なのか、具体的な話、毎日の保育に生かされてきたことです。必要なら一人の子について何時間も話し合います。保育士たちは、子供が大好きです。だから子供が輝くと幸せを感じ、この子等が、将来どんな若者になるのかと期待しながら、どの子にも分けへだてなく愛情をそそぎます。

今回の「保育制度改革」(案)は、その子たちを入所の際の年収によって分けてしまうというものです。親の年収が五〇〇万円以下の子は、これまでもう措置、しかし五〇〇万円以上の子は園と直接契約してください、というもので、

とができるように、保育所はもっとも充実した施設になっていかなければならない時代を迎えています。公的保育を守ることはとても大切なことです。国が責任放棄をしないように、全国十二府県六四三市区町村(全保連調べ)93年12月29日現在)で意見書が採択されています。陽光保育園でも、子供たちがすこやかに、父母と職員が健康で生き生きと活動できるように、安定した園運営ができるように、理事会、父母の会、組合、それぞれの立場はちがっても願いは一つ。保育制度を守るために学習し、行動していくことを始めています。(園長 星野 紀)

保育園の入園を二つのコースに分けてしまうのです。どうも福祉という発想ではない気がしてなりません。

今までは子供本位に考えてきた私たちの保育も、そうなること子供獲得競争が始まり、金次第の保育になりかねず、子供たちから笑顔を奪うことになりはしないかと不安です。

また、〇歳児保育や障害児保育はどうなっていくのでしょうか。現在でも受け入れ施設が少なく、措置入所も容易ではないのです。本当に保育が必要な子供が入所できなくなるのではないかと心配です。

私たち保育士、そして父親・母親の愛には限りはないけれど、体力や資金には限度があります。その愛を生かすのが社会福祉の考え方だと思えます。今一度、人が人間らしく生きることの意味、そして保育とは何かを考えよう大切さを痛感します。

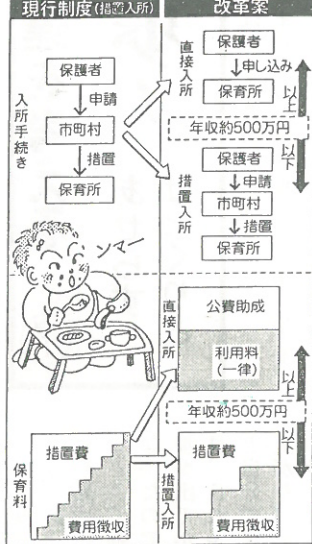
#### 子供を保育園に預けられなくなるかも

一月十七日の緊急大集会(直接入所制度に反対&私たちの保育宣言)に参加しました。それまでもいろいろ話は聞いていました。自分自身あやふやな部分がありました。それが、先日のクラス交流会での先生の話をつきかき、これはただごと

ではないと思ひ、妹も(まだ子供はいませんが)将来に関係することと一緒に参加することにしました。そこでたくさんのお母さん、お父さんの話を聞き、本当に身にしみました。もしこの法案が通ったら、息子の和也をこのまま陽光保育園に通わせることも無理になってしまいます。給料のほとんどを保育料として支払わなければならないからです。

友人にもこの集いの話をしました。彼女も私立の保育園に子どもを預けているのですが、今回の集いのことも、こういう大変な事態になっていることも知らなかったのには驚きました。私立ではなくても、父母は知らなくてはいけないうことなのにと彼女も嘆いていました。

(3歳児クラス担任 徳留人美)



93年12月11日付『朝日新聞』朝刊より

親の年収によって分けてしまうというものは、五〇〇万円以下の子は、これまでもう措置、しかし五〇〇万円以上の子は園と直接契約してください、というもので、



1月12日、厚生省前で保育制度改革案反対を掲げ、要請行動。職員代表2名が参加

#### 親子でいっしょに遊ぼう

★リズム、うた、散歩、砂あそびなど★  
◆陽光保育園では地域の乳幼児、お母さんを対象に、月1回「親子でいっしょに遊ぼう」のものを開催しています。お気軽にご参加ください。無料です。  
【場所】 陽光保育園  
【時間】 午前9時~11時  
【対象】 0歳児~5歳児  
【今後の日程】 2月10日(木)/3月8日(火)/4月はお休み/5月17日(火)/6月9日(木)/7月14日(木)  
◆参加ご希望の方は事前にご連絡ください。☎3956-1068

#### ●陽光保育園・行事案内●

- 陽光保育園卒園式  
日時 3月20日(日) am 9時~11時  
会場 陽光保育園ホール
- 新入園児・父母説明会  
日時 3月12日(土) pm 1時~3時  
会場 陽光保育園ホール
- 入園進級式  
日時 4月1日(金) am 9時半~10時半  
会場 陽光保育園ホール
- 学習会「ゆきとどいた教育のために」  
お金がかかりすぎる小学校教育  
日時 2月18日(金) pm 7時~9時  
会場 陽光保育園ホール
- お花見  
日時 4月10日(日) am 11時~  
場所 城北公園  
皆様の参加をお待ちしています。  
主催 陽光保育園後援会
- 廃品回収  
毎月、第四土曜日に行っています。  
陽光保育園父母の会

#### ひまわり募金ありがとうございました

(93年9月13日、94年1月20日)

●個人 吉田右二・岡田英子・波方ミドリ・田中良雄・清水章子・鳴坂みよ子・宮沢光子・小内康寛・村上富士子  
●団体 有限会社社美登里・日本子ども本研究会 ●リズムの会 ●ちんすこう愛好会 ●募金箱他  
☆ひまわり募金...左記の口座で随時寄付金として受け付けています。  
郵便振替口座  
・番号 東京4-255167  
・名称 社会福祉法人 陽光会  
☆ひまわりテレフォンカード...お申し込みは、保育園事務所まで(千円)。

#### 4月入所 園児募集集中

今年4月からの入所申請は福祉事務所まで受け付けています。2月には措置会議が始まり、3月初旬に入所決定となります。大至急、申請を!



# 感動の第一歩！

あせらず ゆっくりと

## はいはいや高ばいを斜面で

日光保育園の〇歳児クラスには、六人の赤ちゃんがいます。

午前寝をすませ、離乳食が終わると、六人を乳母車やワゴン車に乗せて公園に行きます。地面の上にゴザを敷き、その上で子ども達は遊び始めます。しばらくすると、だんだんと地面の方に這いだし、土の上も平気で、歩いたりはいはいしたりするようになってきます。

毎日くり返しているうちに、直接地面に降りてもいやがらないで、あそぶようになりません。そして平坦な所だけではなく、植込みなどのちよつとした斜面の方にさそくと、よろこんで登ったり降りたりをくり返します。はいはいの子も、高ばいになつたりしながら、足の親指でしっかりと斜面をけり、手と足で自分の体をささえて登ります。大人にとつては、なんでもないような植込みの間の斜面ですが、赤ちゃんにとっては発達をうながす適度な斜面なのです。

このように、私達は日々、少しでも赤ちゃんの発達を保障できるように場所を求めて散歩に出かけています。

はいはいをくり返した赤ちゃんは、つまり立ち、伝い歩きが始まります。そして、つかまつている手を離して一瞬ですがひとりで立てるようになってきます。

はじめの一步が出てから、しっかりと歩けるようになるまでには、少し時間がかかります。その間、床から立ち上がって一、二歩、歩いては、ドスンと尻もちをつき、また立ち上がったのは歩こうと挑戦します。この時期、無理に歩かせようとすると、いやがって、一人立ちをさせようとしたりも、しなくなつたりします。

本来、子どもは新しいことができませんと、自ら何回も挑戦して、その力を確かなものにしていくようになってくるのです。それを、しばらく待つてあげることもしないで、急に身につけさせようとすると、新しく自分でするという気持ちがつぶされてしまいます。ワンクッションおくれしばらく待つということは、育児においてとても大切なことなのです。

赤ちゃんが「ヨイショ」とばかりに立ち上がり、両手を肩まであげて一歩、二歩と歩みはじめた時の緊張した顔には、本当に世の中に一歩踏み出したという面持ちが感じられます。こうなると、怖さがとれ、ころんでもころんでも立ち上がって歩きます。

今、〇歳児クラスのSちゃんは、



明日がお誕生日という日に一歩が出ました。しかしこの一歩がSちゃんにはとても怖かったようで、それからというもの、まったく歩く気配を見せなくなりました。公園等

の広い場所に行くのと、今まで以上にははいはいや高ばいで、所狭しとよく動くようになったのです。第一歩が出てから二カ月目、Sちゃんは自分で床から立ち上がり、一歩、二歩と歩きはじめました。「今度は大丈夫よ」とばかり歩く数は増えはじめました。

「お誕生日が来たのにまだ歩かないのよ」などと心配されるお母さんにも個人差があります。心配するとはありません。それより広い場所へつれて行き、はいはいや高ばいではなく、さそいさせてあげたほうがいいのではないのでしょうか。

## 歩きははじめは「はだし」で

赤ちゃんの第一歩を、お父さん、お母さん、家族中が待ちのぞんでいますが、第一歩が出ると、さつそ

すこやかに育てよう子供心とからだ

真弓先生の講演は、生活や子育ての身近なテーマが考えさせられることがたくさんありました。むしろ身近だったからこそ、事実を知らされてハッとしたのかも知れません。売らんかなの企業のコマーシャルリズムのつて今まで身体に良いとか、健康に良いとされていたものがじつは害であったということがはつきりとなりました。

例えば「牛乳」は、日本人に必要なカルシウム源であるとか、完全栄養食品だから水がわりに飲みましようなどと宣伝されてきたわけですが、本当は野菜や海藻などがカルシウムが多く、現在市販されている高温殺菌高圧処理の牛乳は、カルシウムもタンパク質も少なく、ビタミン類もほとんどないことがわかりました。

また、日本人には乳糖を消化する能力がないこと、牛乳を多量に飲むとお腹がはり、他の栄養のあるものを食べることでできなくなると、かえって鉄欠乏性貧血をおこすことなどが、わかりました。現代の栄養学のあやまりも指摘されました。これまで厚生省は一日何カロリー必要とか、副菜は三十品目以上とったほうが良いなどいつてきましたが、本来、



池上保子さん

くかわいい靴をはかせて歩かせてみて、指先まで力が入り、すべることを防げます。足で直接地面にふれることは、体をしっかりとささえるのに必要な、土ふまずをつくっていくのによい条件を与えるといわれていきます。(〇歳児クラス担任 大沢三鈴)

はだしは、砂や土に直接ふれるので、指先まで力が入り、すべることを防げます。足で直接地面にふれることは、体をしっかりとささえるのに必要な、土ふまずをつくっていくのによい条件を与えるといわれていきます。(〇歳児クラス担任 大沢三鈴)

栄養のとおり方、カロリーの摂取量は季節によって変わるのが当たり前で(冬は寒いのでカロリーを多くするなど)、献立も季節によって変わってくるのが当然なのです。それを無理に三十品目そろえようとする、季節のものではないものや輸入品などにも頼ることになってしまいます。つまり、旬のものを旬の時期に食べるのがいちばんいいわけです。

健康面では、子供は本来、病気が自分で治す力をもっていること。熱をだしたり、下痢をしたり、嘔吐したり咳をしたりのするのは、身体が病気を闘っていることなので、薬を飲むなどして無理に抑えるのはかえってよくないことがわかりました。

乳児が粉ミルクを吐いたりするのそのそのミルクが自分にあつていないことを身体で訴えているわけです。また元来、頭寒足熱が身体にとってよいのだが、最近の冷暖房はその逆の効果があり身体によくない、等々、ハッとさせられることがまだまだたくさんあります。なるほど、なるほど、そうなのか、と考えさせられた二時間でした。(5歳児クラス担任 小内康寛)

## 父・母の声

笑った泣いた  
第1回全体懇談会

タメになった二時間でした

93年11月20日 池上保子さん  
(家庭料理研究所/管理栄養士)を迎えて

年齢クラス別に子どもの成長を伝え合う懇談会が、全体会として初めて催されました。時間に追われる親たちを力づける話がぎけました。

当日の冷たい雨を忘れさせるふつから笑顔の池上さんは、少しでも多く、といわんばかりの早口で、山ほども語られた中のほんのいくつかを台所で：おしようにゆに昆布を入れておいしくなります。軟くなった昆布は野菜と和えて/削りかつお節をこぶしが入る大ききの透明びんに詰めて込むととり出しやすい、しまいやすい/大量に仕入れたら下味をつけて冷凍にしておいしく、あとの手間も格段に楽チン/入浴前に根菜をゆで始めればあがる頃ゆであがる!!

志は：周囲からの要求が多い(忙しい)時期は永遠には続かないもの。女性には平行して複数の事をこなせる力があるので今を盛りと踏んばつて、とおだてられたり、脳を働かせるための朝食の大事さとともに『朝食ワンパターン』も可、の提案もとび出しました。栄養素や添加物の知識は必要、でも食べることは心も育てること、と確認された気がします。初の試みとあつて、独特な保育を展開する「日光保育園」を理解するための、園からの具体的な話がぎけ

## 子育て1分×モ

古着などの利用で

私事ですが、昨年の六月に弟夫婦に子どもが生まれ、現在七か月になります。新生児の時期は特にそうですが、ウンチを少量ずつ一日に何回もするの、オシメの洗濯は大変な仕事なので、その頃、職場の人から、「布オムツの上に一枚布きれを敷くと便利だよ」という話を聞き、さっそく義妹に教えると即、実行しようです。



リヤカーを押して廃品回収

一週間程してから電話があり、「お姉さん、これだつたら下洗いする手間もはぶけて布オムツで頑張つていけそう」とルンルの声でした。それからというもの母は、肌着やTシャツ、シーツ等の古くなった物を捨てずにとつておき、オムツの大きき(たんだ後と同じ形)に切つては、孫の来るのを心待ちにしています。共働きの夫婦にとつてチョットした子育ての智慧ですよ。(〇歳児クラス担任 宗形博美)

父母の会の廃品回収は一石三鳥で役に立っています。父母の会の主催で、毎月第四土曜日に開催されている廃品回収。環境問題の悪化が叫ばれている現在、省資源に少しは役立っているはずですし、その収益は、毎年、春に行う「春のつどい」(父母の会主催)の劇団をよぶ費用にあてられているほか、93年度は、92年度の収益のなかから「ひまわり基金」に寄付することもできました。まさに一石三鳥の廃品回収です。毎月携わってくださいという方も、時々お手伝いしてくださいという方も、ほんとうにご苦労さまです。そして、毎月協力してくださる地域の方々にも感謝しています。(父母の会会長 筒井和美)